五　募入決定の方法

イ　価格競争入札発行　各申込みのうち応募価格の高いものからその応募額を順次割り当てる。

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　各国債市場特別参加者ごとの応募限度額の範囲内において各申込みの応募額を割り当てる。

ハ　国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　財務大臣　麻生　太郎

六　発行額

イ　価格競争入札発行　額面金額で七千二百七十九億円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　額面金額で七百十二億円

ハ　国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　額面金額で千百九十二億円

七　払込金額

イ　価格競争入札発行　七千二百四十九億千九百三十五万円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　七百九億八百八万円

ハ　国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　千百八十七億千百二十八万円

八　最低額面金額　五万円

九　振替単位　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

十　発行日　平成二十八年六月二十日

十一　発行価格

イ　価格競争入札発行　額面金額百円につき九十九円四十五銭以上のそれぞれの応募価格

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行及び国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　額面金額百円につき九十九円五十九銭

十二　利率　年〇・三パーセント

十三　初期利子　平成二十八年十二月二十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十五号において規定する期日について同じ。）。

$$額面金額 \times \frac{0.3}{100} \times \frac{1}{2}$$

十四　第二期以後の利子　毎年六月二十日及び十二月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。

十五　償還期限　平成五十八年六月二十日

十六　償還金額　額面金額百円につき百円

十七　元利金支払場所　日本銀行

十八　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者

十九　払込期日　平成二十八年六月二十日

○財務省告示第二百十三号

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十八年六月二十一日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十八年七月七日

財務大臣　麻生　太郎

一　名称及び記号　利付国庫債券（二十年）（第百三十二回、第百三十三回、第百三十四回、第百五十二回及び第百五十五回）、利付国庫債券（三十年）（第十九回、第二十回、第二十二回、第二十三回、第二十八回、第三十回、第三十二回、第三十五回、第三十六回、第三十七回、第三十八回、第三十九回、第四十四回、第四十五回、第四十六回及び第四十九回）及び利付国庫債券（四十年）（第一回、第三回、第四回、第五回、第六回、第七回及び第八回）

二　発行の根拠法律及びその条項　特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項

三　振替法の適用等　社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。

四　発行方法　利回り格差（第十七号に規定する利回りに応募した者が加算する数値をいう。次号において同じ。）を競争に付して行われる入札による発行

五　募入決定の方法　各申込みのうち利回り格差の小さいものからその応募額を順次割り当てる。

六　発行額　額面金額で三千九百九十七億円

内訳（別表のとおり）

七　払込金額　五千八百五十四億五千八百七万九千円

八　最低額面金額　五万円

九　振替単位　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

十　発行日　平成二十八年六月二十一日

十一　発行価格　発行対象国債ごとに、額面金額百円につき、次の算式により算出した金額

$$\frac{100 + 表面利率 \times 残存年数}{1 + \left(\frac{第十七号に規定する利回り + 募入利回り格差}{100}\right) \times 残存年数}$$

（別表のとおり）

十二　利率　募入決定の通知を受けた者は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を払込期日に払い込むものとする。

$$各発行対象国債の額面金額 \times 各発行対象国債の利率 / 100 \times \left(\frac{各発行対象国債の前利子支払期日の翌日から第十号に規定する発行日までの経過日数（利子支払期日が発行日と同日になる場合には、零。）}{365}\right)$$

十三　経過利子の払込み　第十号に規定する発行日後の各発行対象国債の支払期を支払期とし、各支払期において、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（償還期限について同じ。）。

$$各発行対象国債の額面金額 \times 各発行対象国債の利率 / 100 \times 1 / 2$$

十四　利子　各発行対象国債の額面金額百円につき

十五　償還期限　（別表のとおり）

十六　償還金額　額面金額百円につき百円